



学校設定科目「課題研究」を 軸とした組織的カリキュラム マネジメント

大阪府立豊中高等学校



0 学校の概要

- 1 生徒数 1120名
- 2 設置学科 普通科・**文理学科**
(H30年度から、文理学科のみ募集)
- 3 構想名
「多様性」と「文化」を掛け橋にして
世界を牽引する人材を育成する
- 4 研究指定(平成27年度～)
SGH指定・SSH指定(2期目)



1 本校の取り組みの特徴(1)

学校設定科目「**課題研究**」を中心
に据え、各種講演会・シンポジウ
ム・**国内外フィールドワーク**を有
機的に結合させたカリキュラムの
実現

1-1 カリキュラムの構造





1-2 「課題研究」の構造

◆ 学年ごとに段階的な目的の設定

- 1年 1学期 情報リテラシー習得
- 2学期 情報ツールを活用した、留学生との交流に向けた「調べ学習」
- 3学期 留学生との交流(英語によるプレゼン)
2年生の研究発表の見学・質疑





1-2 「課題研究」の構造

指示で
はなく
援助

- 2年 1学期 先行研究検索・課題設定
2学期 中間発表に向けた調査・研究
中間発表での課題の解決に向けた調
査・研究の継続
3学期 「豊高プレゼン」に向けた研究成果の
まとめ
春休み 論文作成

生徒の希望・自主性を活かして、
4つのGLOVAL VISIONに分割

VISION 1「フェアトレード」 VISION 2「地球環境」

VISION 3「日本とイスラム諸国」 VISION 4「比較文化」



1-2 「課題研究」の構造

- 3年
- ・論理的文章の書き方のワークショップ
 - ・論文のブラッシュアップ
 - ・2年生のTA(ティーチング・アシスタント)

興味・関心・進路にあわせて、

研究の継続・発展

SGH対象公募推薦入試の準備



2 本校の取り組みの特徴(2)

協働性を重視した教職員の組織的運営の実現

あえて、専門家をつくらない



2-1 研究組織の構造



SSHの先行実施による
学校内の組織化が進展



2-2 研究組織の特徴

- 1 校長のマネジメントによる SGH・SSH 事業推進・調整の**全校的組織づくり**
- 2 **開発部門**（研究開発委員会）と**実践部門**（担当者会議）との密な**連携**
- 3 ルーブリック等による**事業評価**とその結果の**フィードバック**
- 4 課題研究の指導法の**教科授業**（アクティブラーニング）への**波及**（相互授業見学）



3 本校のSGHカリキュラムと 新学習指導要領

生きて働く

知識・技能の習得

未知の状況にも
対応できる

思考力・判断力・表現力

学びを人生や社会
に生かそうとする

学びに向かう力・人間性

学びを人生や社会
に生かそうとする

学びに向かう力・人間性

実践例 小学校でのフェアトレードの授業

時間	小単元名 及び目標	主な学習活動	観点
10分	① 自己紹介 ② 導入	① 講師の自己紹介を聞く ② 図を見ながら説明を聞き、 今の貿易のしくみについて 理解する	知識・理解
20分	③ フェアトレード についての 説明	① 図を見ながら説明を聞き、 フェアトレードのしくみ について理解する	知識・理解
		② 実際の商品を見ながら、 フェアトレード商品と 一般の商品の違いについて 理解する	知識・理解 関心・意欲・態度
		③ ①②で学んだことを クイズ形式で確認する	思考・判断・表現 関心・意欲・態度
10分	④ まとめ	① フェアトレードについての 冊子を読む	知識・理解
		② 簡単なアンケートに答える	関心・意欲・態度





ご静聴
ありがとうございます
ございました

大阪府立豊中高等学校